

大会名 Competition	第27回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-114	Year Month Day Time 2014 年 5 月 5 日 13 : 30
場所 Place	能代市総合体育館



チームA 市立船橋 76 ○	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>19</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>28</td></tr> <tr><td>15</td><td>4th</td><td>18</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	23	1st	12	19	2nd	16	19	3rd	28	15	4th	18	OT			チームB 洛南 74 ●
23	1st	12															
19	2nd	16															
19	3rd	28															
15	4th	18															
OT																	

主審:Referee 加川 真 宮城
副審:Umpire 及川 学 岩手
水木 順仁 秋田
テーブル・オフィシャル:Table officials 能代工業

No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	戸田 貴太	CAP	15	1	4	4	1	4	×	村井 大陸	CAP	9	1	3	0	1
5	×	川島 翔吾		8	0	4	0	4	5	×	菅 祐史		20	5	2	1	2
6	/	平良 彰吾		5	1	1	0	2	6	/	富田 頼		13	0	5	3	3
7	×	青木 太一		27	0	10	7	1	7	×	澤田 絢以		11	3	1	0	2
8	×	杉田 涼		18	2	5	2	1	8	×	岡田 卓也		2	0	1	0	1
9	×	岡野 直樹		3	1	0	0	1	9	/	下田 忠至		0	0	0	0	0
10	/	川上海 斗		0	0	0	0	0	10	/	高田 颯斗		0	0	0	0	0
11		渡辺 和人		-	-	-	-	0	11	/	寺嶋 良		6	0	3	0	2
12		畠山 大介		-	-	-	-	0	12	/	鈴木 悠介		0	0	0	0	1
13	/	棟方 啓介		0	0	0	0	0	13	×	田邊 陸也		12	0	5	2	0
14	/	白井 虎太郎		0	0	0	0	0	14		長谷川 寛元		-	-	-	-	0
15	/	邱文 昊		0	0	0	0	1	15	/	荒川 颯		0	0	0	0	1
16		金子 翼		-	-	-	-	0	16		矢野 広大		-	-	-	-	0
17		菅野 竜介		-	-	-	-	0	17	/	津屋 一球		1	0	0	1	1
18		増田 修大		-	-	-	-	0	18		柳川 幹也		-	-	-	-	0
コーチ		近藤 義行							コーチ		吉田 裕司						
合計				76	5	24	13	11	合計				74	9	20	7	14

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、市立船橋は3-2のゾーンディフェンス、洛南はマンツーマンディフェンスでスタートする。洛南#5菅、市立船橋#7青木を中心に両校とも速い展開のオフェンスを繰り返す。試合が動いたのは残り5分。市立船橋は2-1-2のフルコートゾーンディフェンスを仕掛ける。これをきっかけに一気に畳み掛け、残り3分、市立船橋#4戸田の3Pで逆転に成功。市立船橋は#7青木の3連続得点もあってリードを広げていく。一方、洛南は、市立船橋のチームファウルがかさんでいくのを得点に繋がられない。23-12と市立船橋がリードして1Q終了。

2Q、洛南はフルコートマンツーマンディフェンスを変更し、流れを変えようとするも、アウトサイドからのシュートを決められず、開始4分間ノーゴールと苦しい時間帯が続く。30-12とリードを広げられ、洛南は1回目のタイムアウト。ここから徐々にオフェンスのリズムが良くなっていく。洛南は#6富田のジャンプシュート、#7青木の2本の3Pで36-24と差を縮める。対する市立船橋は、オールメンバーチェンジからディフェンスを2-3と3-2のゾーンディフェンスに頻繁に変更し、洛南に流れを掴ませない。市立船橋#7青木を中心に得点を重ね、42-28と市立船橋リードで2Q終了。

3Q、市立船橋は3-2のゾーンディフェンス、洛南はマンツーマンディフェンスでスタートする。洛南は前半落ちていたアウトサイドが決まり始め、#7澤田、#5菅の連続3P、#8岡田がジャンプシュートを決めるなどして、49-42と追い上げる。対する市立船橋もリバウンドから得点を重ね、再び引き離しにかかる。洛南はタイムアウト後、ディフェンスを1-2-2のフルコートゾーンプレスからの3-2のゾーンディフェンスに変更し、一気に流れを引き寄せた。洛南は、#4村井、#5菅の3Pなど連続12得点を奪い、61-56と市立船橋5点リードで3Q終了。

4Q、市立船橋は2-3のゾーンディフェンスに変更し、#8杉田の3Pや#5川島の合わせから得点を重ねていく。洛南はなかなか差を縮められない苦しい展開が続く。残り3分を切り、洛南#5菅が2本の3Pを決め、残り1分で74-72とするも、最後は市立船橋#6平良のアシストから#5川島が決め、76-74で市立船橋が勝利した。